

共同リリース

2021年11月16日  
ANAホールディングス株式会社  
日本空港ビルディング株式会社

## ANAと日本空港ビルディングが連携、鮮度が重要な野菜・果物を最速で地方から「産直空輸」、羽田空港で販売

- ・2021年11月19日から23日の5日間、羽田空港第2ターミナルで試験販売を実施します。2回目となる今回は販売期間と種類を拡大します。
- ・旅客機の貨物スペースを活用した航空のスピード輸送と、産地および小売店との連携による最速物流で、全国各地の朝採れ野菜・果物を羽田空港に運び、当日の午後に抜群の鮮度で販売します。
- ・空港の新たな価値を創造するとともに、日本全国のこだわりの農産物・生産者を応援し、地域創生にも貢献して参ります。

産直空輸

HANEDA Tokyo International Airport × ANA Cargo



出発階での試験販売（10月、1回目）

ANAグループ（以下「ANA」）と日本空港ビルディング株式会社（以下「日本空港ビルディング」）は、全国の美味しい野菜・果物を採れたての「鮮度」にこだわり、産地での収穫、航空のスピード輸送、地上配送、店舗での販売をトータルコーディネートした「産直空輸」による試験販売を10月より開始いたしました。2回目となる今回は販売期間と種類を拡大いたします。

2021年11月19日（金）から23日（火・祝日）の5日間に、第2ターミナル出発階（2階）の「東京食賓館」（時計台3番前）店頭の特設コーナー、ならびに到着階（1階）の「DELEETS」で試験販売を実施し、販売状況やお客さまの反応を検証します。地方空港に近い生産者の朝採れ農産物を旅客機の貨物スペースを活用し、羽田空港にタイムリーに輸送します。羽田空港内という地の利を活かし、朝の収穫から最短5時間ほどで、当日の午後に羽田空港で販売いたします。

従来、収穫から店舗到着までにかかっていた流通時間を大幅に短縮し、納品後すぐに店頭で陳列することによって、全国のこだわり食材を抜群の鮮度でご提供することができます。例えば、従来の流通では流通時間の制約から6割程度の熟度で出荷していたいちごも、完熟に近い状態で収穫して出荷することにより、鮮度だけではなく糖度も高い状態でお届けできます。さらに、既存の流通には乗ってこなかった少量生産の農産物、首都圏ではなかなか出回らない希少品や、地方に眠る逸品なども扱うことができます。

ANAと日本空港ビルディングは、人の出会いを創出する首都圏の空の玄関口である羽田空港で、全国の新鮮な食材との出会いを創出するという新たな空港の価値をお客さまにお届けするとともに、日本全国のこだわりの農産物を栽培している生産者を応援し、地域創生に貢献して参ります。

以上

問い合わせ先：

ANAホールディングス株式会社 広報・コーポレートブランド推進部 [TEL:03-6735-1111](tel:03-6735-1111)日本空港ビルディング株式会社 広報・ブランド戦略室 [TEL:03-5757-8030](tel:03-5757-8030)